

革新的な技術の  
“開発”・“活用”に関する  
対話事業者を募集！



## 広島県建設分野の革新技術活用制度(仮称) に関するサウンディング調査の対話事業者を募集します。

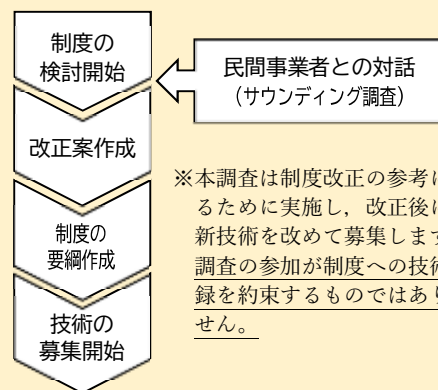
広島県では、老朽化が進む公共土木施設を適切に維持管理していくため、民間等から施設の長寿命化に資する技術を募集・登録する「広島県長寿命化技術活用制度」を平成26年度に創設し、県内の公共事業での活用を推進しています。

一方で、老朽化するインフラの増加や担い手不足などの建設分野における課題等に対応するため、インフラ整備の調査・設計・施工・維持管理のあらゆる段階において、革新的な技術を募集・登録する「広島県建設分野の革新技術活用制度(仮称)」への改正を検討しています。

つきましては、官民双方にとって有効な制度とするため、事業者との“対話”を通じ、技術の開発・活用などに関する「サウンディング調査」を実施します。

### サウンディング調査とは…

現在検討している制度について、その検討段階で事業者との「対話」を実施し、予め制度の価値向上のためのアイデアや有効性の有無について把握する調査です。



※本調査は制度改正の参考にするために実施し、改正後に革新技術を改めて募集します。調査の参加が制度への技術登録を約束するものではありません。

### 対話においてお聞きしたいこと…

- ✓ 革新的な技術・アイデアの概要(対象施設や活用効果)
- ✓ 革新的な技術の開発動向
- ✓ 革新的な技術を登録する上での評価指標 など

### ◆お問い合わせ先◆

広島県土木建築局 技術企画課 企画調査G  
〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52  
TEL: 082-513-3859 (直通)

## ◆対話の受付期間

令和3年11月5日（金）～令和3年12月6日（月）

## ◆対話の実施期間

令和3年11月15日（月）～令和3年12月20日（月）

- ※ 対話は、申込者ごとに個別でオンライン形式により実施します。
- ※ 希望者多数の場合、全ての事業者と対話ができない可能性がありますので、ご了承ください。
- ※ 対話への参加に要する費用は、申込者の負担とします。

## ◆対象事業者

次の要件を満たす事業者（県内外を問いません）

- ①建設分野や情報通信分野（AI/IoT など）、電気・機械設備分野などで法人格を有する者。
- ②公共土木施設の調査・設計・施工・維持管理のあらゆる段階において、施設の長寿命化やインフラ整備の高度化・効率化に資する技術※を有している。

※ 技術については実績の有無を問わず、開発中のものでも構いません。

## ◆対話の申込方法

広島県 HP の「対話申込フォーム」に必要事項を記入の上、お申し込みください。  
県 HP <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=1765>



## ◆広島県建設分野の革新技术活用制度（仮称）の検討案

次の3部門で技術を募集・審査・登録し、公共事業での活用を推進する制度です。なお、検討案の段階であるため、制度の詳細は変更となる可能性があります。

	募集対象技術	具体例
長寿命化部門	LCC 縮減など公共土木施設の長寿命化に資する技術	・高強度で高耐久性のグレーチング製品 ・耐凍害性等を向上したプレキャスト製品 ・耐久性の高い法面を構築する材料・工法 ・コンクリート構造物の鉄筋腐食を抑制する技術 ・鋼構造物の塗膜剥離と塩分除去を同時に実施できる技術 ・鋼構造物において、長期防錆性や耐塩害性等の向上を可能にした防食塗装 など
効率化部門	建設工事等の省人化・省力化や工期短縮など、インフラ整備の効率化に資する技術	・プレキャスト化技術を活用して、砂防堰堤や橋梁等の構造物を築造する技術 ・周辺の3次元データを活用して、施設の変状を確認する技術 ・UAV を活用して施設点検を行う技術 ・従来よりも現地作業を軽減できるプレキャスト製品・工法 ・3Dプリンターを活用して構造物を築造する技術 など
高度化部門	公共土木施設の点検・診断、データの蓄積・分析など、インフラ整備の高度化に資する技術	・カメラ画像等を AI 等により解析する技術 ・3次元データ等を活用して AI が構造物を自動的に設計する技術 ・振動などのセンサーデータを蓄積・分析し、構造物の劣化予測を行う技術 ・建設機械の無人化施工や自動施工を支援する技術 ・センサーデータを活用した電気・機械設備等の施設運用システム ・環境への負荷を低減する工法・製品 など